



「おしゃべりと歌が大好きなももか！  
とてもマイペースなあこ！  
元気な姉妹で～す!!」  
田部百花ちゃん H16.8.31生  
亜子ちゃん H17.9.20生  
(城見台)



「キティちゃんが大好きな  
心優しい女の子です」  
関藤佳宝ちゃん (入田)  
H15.12.21生



「わが家の消防隊員です  
火事と救急は119番」  
森山結貴ちゃん (小平井)  
H15.12.1生



「この春から小学生と幼稚園児です  
がんばるぞ!!」  
藤井建太ちゃん H12.7.18生  
晃太ちゃん H15.8.3生  
(生江浜)



「イタズラ大スキな  
我が家のアイドルです♡♡」  
坂本鈴奈ちゃん (有田)  
H18.6.13生

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

「私」の家の門前に一本の桜がある。庭内にも一本の桜がある。何れも山桜であるが、此二つの樹は全く正反対とも云ってよい位に、異なった種類の桜である。門前の桜は、花が咲かない内に赤い葉を出し、僅かの時日に薄茶色の葉となつて繁る。花は何時の間に咲くのか、ちらほらと白い色が私の目に写る頃には、もう地上に散り敷く花の数はおびただしい。」

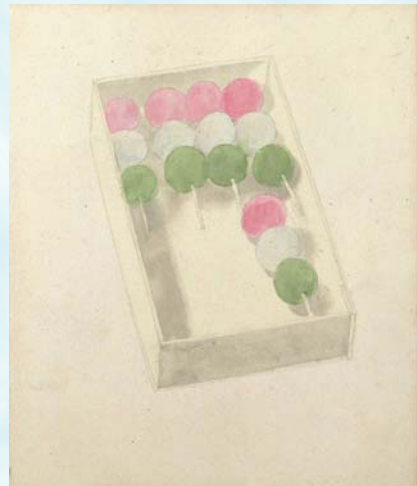
特別展 つじ かこう 都路華香



近年評価の高まる華香の戦後初の回顧展。展示替を行い、後期展示に入りました。ぜひご鑑賞下さい。  
会期：～4月15日(日)

〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
☎63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

箱の中にならぶ花見団子は、家族が買ってきたものなのか、客人によつてもたらされたものなのか。あか、しろ、みどりの愛らしさと春らしい楽しみに、思わずスケッチしてしまつたのだろう。あわただしく過ぎる花時を楽しむ竹喬の姿が偲ばれる。



竹喬美術館の光彩 52

花見団子

小野竹喬 作  
昭和23(1948)年  
27.5×23.0cm

今月の表紙

出来上がった作品を見て思わず「わあ、きれいな！」  
3月25日、竹喬美術館では「こどものためのマーブリング教室」が行われました。市内外から20名が参加し、赤や青、黄色などカラフルなインクを水に流し、思い思いの「波」をイメージした模様を作成しました。いろいろ模様に挑戦した子どもたちは、「おもしろかった」「まだやりたい」と大満足でした。

係から

新入生・新社会人を迎える4月は、なぜか心がわくわくするものです。行財政改革を進めている市役所でも、4年ぶりに事務職員を採用しました。私も新しい職場に異動することになり、フレッシュな気分になりました。  
古城山公園の桜や干拓地の菜の花が近々満開を迎えるように、笠岡のまちの活性化が一層進む1年にしたいものです。(中)



中野素嗣



土屋武之

発行日/平成19年4月1日  
発行/笠岡市役所  
編集/企画政策課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>  
メールアドレス：[kouhou@city.kasaoka.okayama.jp](mailto:kouhou@city.kasaoka.okayama.jp)



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています